

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

高知県四万十市 市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
34,001	11,392	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

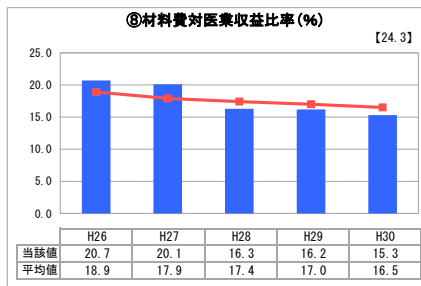
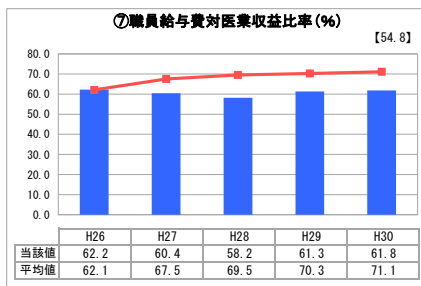
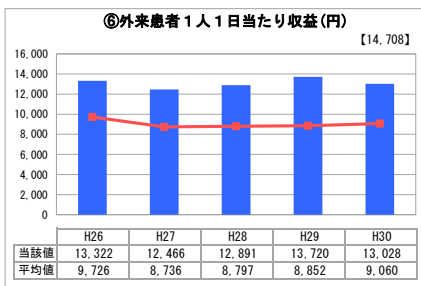
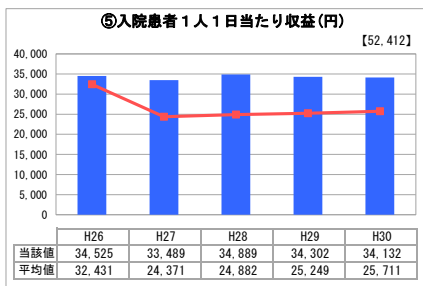
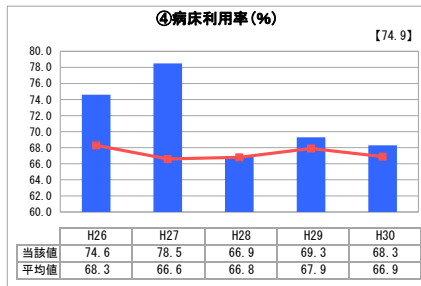
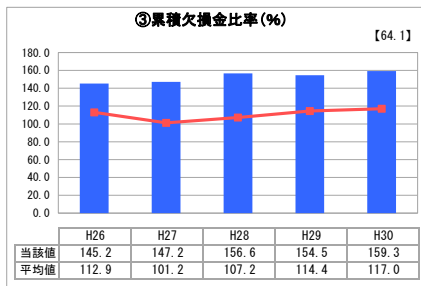
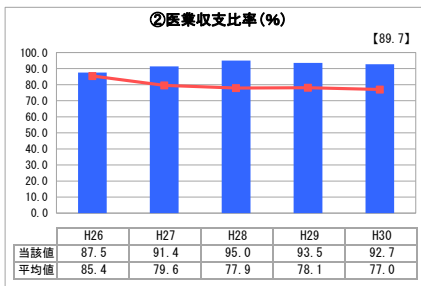
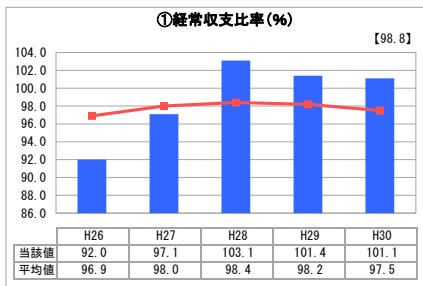
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
99	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
99	-	99

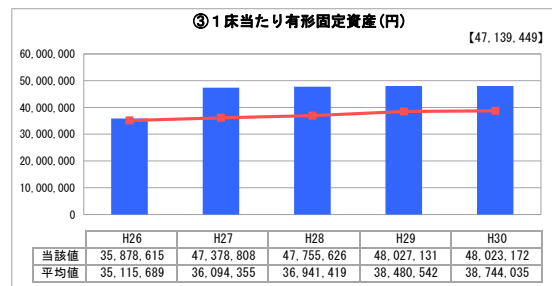
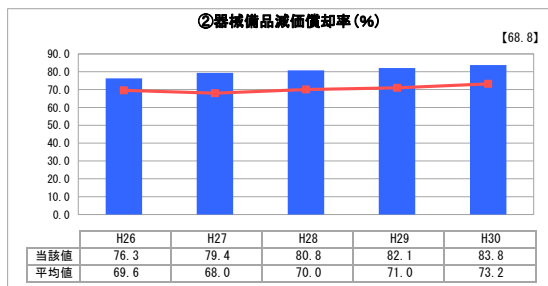
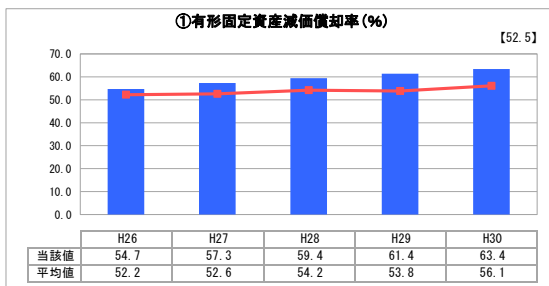
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

当院は、昭和27年に開設されて以来、地域における中核的医療機関として医療水準の向上に努め、市内のほとんどの医療機関が「回復期・療養期医療」を提供する中で、「急性期医療」を提供する役割を担い、市民をはじめ、幅広い地域の住民の健康と福祉の増進に重要な役割と責務を担ってまいりました。今後も急性期医療を主体とした機能と規模を維持することを基本として、さらに進展する高齢者社会において、需要の増加が見込まれる回復期医療や在宅復帰支援の充実に努めます。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率…平成30年度は黒字を計上。今後も平成29年3月に策定した健全化計画に基づき収益と費用の両面から経営改善に努める。
- ②医業収支比率…類似病院を上回っているが、更に医業収支比率を高める取り組みを進める。
- ③累積欠損金比率…類似病院と比較して大きな累積欠損金が出ている。
- ④病床利用率…いずれの年も類似病院を上回っているものの、平成28年度以降は70%を下回っており、利用率向上に取り組み。
- ⑤患者1人1日当たり収益…類似病院を上回っている。
- ⑦職員給与費対医業収益比率…類似病院と比較して給与費の割合は低いが、今後も給与費の適正化に努める。
- ⑧材料費対医業収益比率…平成28年度以降類似病院と比較して材料費の割合は低いが、今後も適正化に努める。

### 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率、②機械備品減価償却率  
有形固定資産及び機械備品の減価償却率は、他病院に比較して高くなっている。計画的に適切な機械備品等の更新を図る。
- ③1床当たり有形固定資産  
平成30年度は前年度とほぼ横ばいである。また、類似病院を上回っている要因は、地域における中核的医療機関として「急性期医療」を提供する役割を担っており、診療機能の高度化、充実化のために、高額な医療機器の整備や手術室や検査室に係る資産を保有しているためである。

## 全体総括

当院は、平成30年度には3年連続で黒字を計上したものの、大きな累積欠損金を抱えるなど、近年の医療制度改革、診療報酬のマイナス改定、医師不足等の影響により、依然として厳しい経営状況に直面しています。  
このため、平成29年3月に「四万十市市民病院経営健全化計画」を策定し、医療環境の変化に柔軟に対応し、経営の効率化を図るとともに、質の高い医療の提供や患者サービスの向上に取り組むことで、経営の健全化を図り持続可能な病院運営に努めることとしています。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。